

元プロサッカー選手が 夢の叶え方を伝授

市内3つの小学校で
遠野わらすっこ「夢の教室」を実施

JFAこころのプロジェクト・遠野わらすっこ「夢の教室」(日本サッカー協会主催)が、達曽部・青笹・上郷小学校でそれぞれ行われ、元プロサッカー選手が特別授業を行いました。

体育館では、チームワークの大切さを伝えるゲームなどを行い、教室では、それぞれの講師が自身の経験を語りながら夢の叶え方について指導。講師は、夢を持つことの素晴らしさや、夢をかなえるためには仲間との支えあいと努力が必要であることを伝えました。

同教室は平成21年から始まり、今年で7年目。これまで、全69回の授業が行なわれています。



8月26日/達曽部小
【夢先生】
北本 綾子 氏
(元ナadeshijapan)
【アシスタント】
高田 保則 氏
(元Jリーガー)

夢の叶え方を教える北本さん

9月1日/青笹小
【夢先生】
平瀬 智行 氏
(元Jリーガー)
【アシスタント】
井手口 純 氏
(元Jリーガー)



ゲームを通じて交流を深める平瀬さん



9月11日/上郷小
【夢先生】
柴小屋 雄一 氏
(元Jリーガー)
【アシスタント】
井手口 純 氏
(元Jリーガー)

一人ひとりに声をかける柴小屋さん



9月9日 遠野西中で東北電力スクールサイエンス教室 おもしろ実験で科学を学ぼう

東北電力岩手支店が、地域の未来を担う子どもたちの育成を目的に開催。サイエンスインストラクターの阿部清人さんを講師に、生徒はさまざまな実験を通じて科学を学びました。阿部さんが、風力・水力・太陽光発電を解説する実験や、巨大空気砲の実験などを披露すると、生徒は驚きの声を上げていました。



実験に挑戦する阿部さんと生徒

9月13日 「これからの保育を共に考える対話会」 わらすっこの笑顔は遠野の宝

子どもが主役のこれからの保育について考える対話会が、みやもりホールで行われ、市内保育所・幼稚園職員や保護者ら300人が参加しました。保育現場に長年携わってきた汐見稔幸氏、井上さく子氏二人を講師に迎え講演会も実施。参加者は、それぞれの立場を超えた保育の在り方について、気持ちを新たにしました。



保育の未来について語る汐見さん(左)と井上さん

9月21日 妖怪文化を伝承・普及！「フォーラムin遠野」 妖怪を通じて地域活性化を推進

世界妖怪協会(水木しげる会長)が「怪遺産」に認定した本市と鳥取県堺港市、徳島県三好市の3市が妖怪文化を通じた交流を深める「怪フォーラム2015」(3県主催)は、あえり遠野などで開催され、市民や観光客ら1,500人が参加しました。妖怪講座や各県の伝統芸能などが披露され、参加者は多彩な催しを楽しみました。



作家の京極夏彦さんと宮部みゆきさんによる妖怪講座

8月29日 TKプロジェクト「遠野ピアツーリズム」 ホップ収穫体験で魅力を発信

遠野の農業に興味関心をもってもらい、新規就農者の拡大につなげようと、市と麒麟ビール(株)との連携により体験ツアーが行われました。参加者は首都圏などに在住している28人。ホップの収穫体験などに挑戦したほか、遠野の野菜を使用した調理体験も実施。参加者は農業と食のつながりへ理解を深めました。



ホップの収穫体験に汗を流す参加者

9月2日 わたしの主張遠野地区大会(同実行委主催) 市内の中学生が堂々と主張

みやもりホールで行われた同大会には全3中学校から9人が出場し、学校生活への思いや将来の夢などを堂々と主張しました。最優秀賞は、「今だから伝えたい」と題して発表した柏崎悠司君(遠野3)。
柏崎君は、東日本大震災を通じて、人々の絆の大切さを知ることができた経験を、力強く発表しました。



堂々と主張する柏崎君。9月11日に開催された県大会では、優良賞に輝きました

9月12日 市総合防災センターで消防フェア開催 体験して防災意識を高めよう！

各種体験コーナーや救急講演会などを通じて消防業務への理解を深める「消防フェア」。今年は家族連れなど約400人が訪れ、多彩なイベントを楽しみました。体験コーナーでは、救急車や消防車などの乗車体験、心肺蘇生法体験、放水体験、煙体験などを実施。消防技術の披露や白バイのデモ走行、自衛隊の特別展示も行われ、子どもたちは目を輝かせていました。
このほか、県立遠野病院の菅原隆院長による救急講演会、婦人消防協力隊による炊き出しも行われ、来場者は命を守るために必要な備えについて学びました。

- 1_放水体験にドキドキ 2_こちらはロープ渡りに挑戦 3_大船渡地区消防本部からは、大型の特殊車両が出展 4_最後は力を合わせて救助工作車と綱引き

8月22日 親と子の医療系進学ガイダンス 医師になるまでの道を説く！

現役医大生が進路指導をする医療系進学ガイダンス(県主催)が遠野健康福祉の里で行われました。講師は、小友町出身で岩手医科大6年の菊池大地さん(23)。菊池さんは医学部合格までの経験を語り、参加した市内の中学生ら20人は、医学部へ進学するための学習方法や奨学金制度などについて理解を深めました。



医学部合格へのプロセスを説明する菊池さん

8月29日 戦後70年市戦没者追悼・平和祈念式 戦没者の冥福を祈り平和を誓う

第二次世界大戦などで犠牲になった戦没者の冥福を祈り、恒久平和を誓う平和祈念式があえり遠野で行われました。200人の参列者は、黙とうをささげ平和への誓いを新たにしました。市遺族連合会の菊池源悦会長は「戦争体験を次世代へ伝えていき、戦争のない平和な社会に」と追悼の言葉を述べました。



戦没者の冥福を祈り、追悼の言葉を述べる菊池会長

